

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「健康」	教員氏名	井狩 芳子
学年	1年	開講学期	前期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修		
テーマ	乳幼児期の子どもの援助について、保育内容「領域『健康』」の視点から基本の知識を学ぶ		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・導入として、保育観の共通認識をおこなったうえで、「生活リズム・基本的生活習慣・安全生活・生きる力・遊ぶ力」の5項目について、トピックスをとおして基本の知識を理解し、併せて、現代っ子の健康課題を把握する。同時に学生自身の生活を振り返り、自身の健康課題を探り、修正の機会とする。 ・授業の最終段階では、学生自身が『保育者の卵』として、「養護される者から、養護する者へ」の変革期にいることを認識し、年齢相応の健康な生活が送れる力の習得を目指す。 ・授業内では、都度、ワークや課題に取り組み知識の定着を図る。 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 導入として、現代日本の子どもの健康課題の把握と自身の健康課題の認識 ② 主要内容は、領域「健康」の意義・ねらい・内容の概要の把握 ③ 授業終了時には、子どもへの健康指導の視点の把握を目指す ④ 自身の健康管理の力と、子ども特有の健康課題の解決に繋がる基礎力を習 		
テキスト	1、『演習 保育内容健康』萌文書林 井狩芳子 2、『保育所保育指針』厚生労働省 3、『幼稚園教育要領』文部科学省 4、『幼保連携認定子ども園 教育・保育要領』厚労省・文科省		
参考書	・関連科目の教科書 ・幼児期運動指針(文部科学省)等		
	* 但し、授業中配布プリントは、1人1セットとする		授業中にプリントを配布する
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・指定課題である「生活習慣の記録」を利用し、生活リズムをデザインし提出する。 ・授業内で取り組んだワークシートのうち指示されたものをキャリアファイルに綴じる。 		
課題の確認と成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業への積極的参加(15%) ② 提出物における積極的な学びの姿勢(記入)(35%) ③ 授業内容の理解確認(50%・・・但し、理解度が6割未満の者は再確認をおこなう) 		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	保育親の捉え方 「保育・教育」の意義と役割 の理解
	授業外指示	<予習>シラバスの熟読 <復習>大学生としての、保育・教育の捉え方について整理する
第2回	テーマ 内容	第1テーマ:各指針の中の「健康領域」の確認／内容:各指針の特徴の把握 第2テーマ:子ども理解を深める／内容:子どもの身体イメージ化(提出課題No.1) 第3テーマ:日本の季節／文化／二十四節気の把握
	授業外指示	第1テーマ:各指針の中の「健康領域」の確認／内容:各指針の特徴の把握 第2テーマ:子ども理解を深める／内容:子どもの身体イメージ化
第3回	テーマ 内容	現代日本の健康課題を探る(視聴覚教材使用予定) 専門家が指摘する、現代っ子の健康課題を知る(提出課題No.2)
	授業外指示	<予習>現代っ子の健康課題について考え臨む <復習>専門家の指摘する課題をもとに、現代の健康課題を整理する
第4回	テーマ 内容	トピックスの提示 ①感覚の発達とその役割(提出課題No.3-①) ②立体視力測定(提出課題No.3-②)
	授業外指示	<予習>自分の身体にとっての感覚の働きを認識して臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理する
第5回	テーマ 内容	トピックスの提示 ②体温の役割と恒温の役割
	授業外指示	<予習>自分の身体にとっての体温の働きを認識して臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理する
第6回	テーマ 内容	トピックスの提示 ③生活リズムの獲得とその役割
	授業外指示	<予習>各自のポートフォリオワークを見直し、問題点を考える <復習>学んだ内容を基に、知識を整理する
第7回	テーマ 内容	乳幼児期の発育・発達の概要の把握(その1) 子どもの発育・発達について、年齢を追ったイメージができることを目指す(提出課題No.4)
	授業外指示	<予習>ヒトが成長(発育・発達)していく姿を認識して臨む <復習>子どもの成長と保育内容健康の課題を整理する
第8回	テーマ 内容	乳幼児期の発育・発達の概要の把握(その2) 子ども期の体力獲得に不可欠な「協応動作の獲得」について知る
	授業外指示	<予習>ヒトが成長(発育・発達)していく姿を認識して臨む <復習>子どもの成長と保育内容健康の課題を整理する
第9回	テーマ 内容	トピックスの提示 ④脳の発達・概念形成・言葉の獲得と子どもの成長
	授業外指示	<予習>自分にとっての概念とは何かを模索して臨む <復習>学んだ内容を基に、知識を整理する

第10回	テーマ 内容	基本的な生活習慣の獲得 乳幼児期が、生活に係る基本の力を習得する時期であることに気づく
	授業外指示	<予習>自分の基本的な生活習慣を見直し、課題を挙げて臨む <復習>自分の生活に必要な生活習慣について、修正点をまとめる
第11回	テーマ 内容	子どもの遊び・子どもと遊び 子どもにとっての遊びの意味を、大人と比較しながら検討する / (提出課題No.5)
	授業外指示	<予習>子どもにとっての遊びとは何かを、自分の経験を基に考え臨む <復習>学んだ視点から、現代の子どもの遊びについての課題を考える
第12回	テーマ 内容	子どもを守る「安全の視点」① (視聴覚教材使用予定) 遊具の安全性について、ハザードとリスクの視点を習得する(提出課題No.6)
	授業外指示	<予習>最近の公園を事前に見て、遊具事情を把握して臨む <復習>子どもの遊具をとおり、子どもの安全保障の視点を確認する
第13回	テーマ 内容	子どもを守る「安全の視点」②・・・安全管理と安全教育 保育内容「健康」に係る、学びの振り返り
	授業外指示	<予習>子どもは何故、守られなければいけない存在なのかを考え臨む <復習>自分ができる、子どもへの具体的な支援を考える
第14回	テーマ 内容	授業理解の確認 授業理解の全般的な確認
	授業外指示	<予習>今までの学習の全般を確認して臨む <復習>理解が不十分だった課題を確認しておく
第15回	テーマ 内容	食を含む生活の視点から、子ども理解を深める(視聴覚教材使用予定) 今後の展望を紡ぐ(課題提出No.7)
	授業外指示	<予習>①半期間の学びの振り返り ②自分の健康状態の把握と創造 <復習>返却物をキャリアファイルに綴じる。